

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター
法人会員・役員名簿（五十音順）



法人会員 19社

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 旭化成株式会社 | ① 総合警備保障株式会社 |
| ② 味の素株式会社 | ② 株式会社デイ・シイ |
| ③ ENEOS株式会社 | ③ 東亜建設工業株式会社 |
| ④ 株式会社クレハ環境 | ④ 東亜石油株式会社 |
| ⑤ J&T環境株式会社 | ⑤ 東京ガス株式会社 |
| ⑥ JFEアーバンリサイクル株式会社 | ⑥ 東京電力エナジーパートナー株式会社 |
| ⑦ JFEエンジニアリング株式会社 | ⑦ 東京電力パワーグリッド株式会社 |
| ⑧ JFEスチール株式会社 | ⑧ 株式会社浜銀総合研究所 |
| ⑨ JFEプラリソース株式会社 | ⑨ 富士電機株式会社 |
| ⑩ 昭和電工株式会社 | |

役員

理事長	： 足立 芳寛	東京工科大学教授
専務理事	： 小泉 幸洋	前川崎商工会議所 専務理事
理事	： 浅見 健一郎	JFEスチール(株) 東日本製鉄所副所長
	宇賀神 俊介	東京ガス(株) 川崎支店長
	小倉 康嗣	国立大学法人東京工業大学 監事
	加藤 英治	ENEOS(株)常務執行役員 川崎製油所長
	久保田 賢	(株)デイ・シイ 執行役員 川崎工場長
	穴戸 康行	東亜石油(株) 取締役
	肥塚 俊成	(株)浜銀総合研究所 代表取締役社長
	柳瀬 徹	東京電力パワーグリッド(株) 川崎支社長
監事	： 小澤 信幸	アスカ税理士法人 代表社員 税理士

※この名簿は、2021年5月18日の総会議決後のものです。

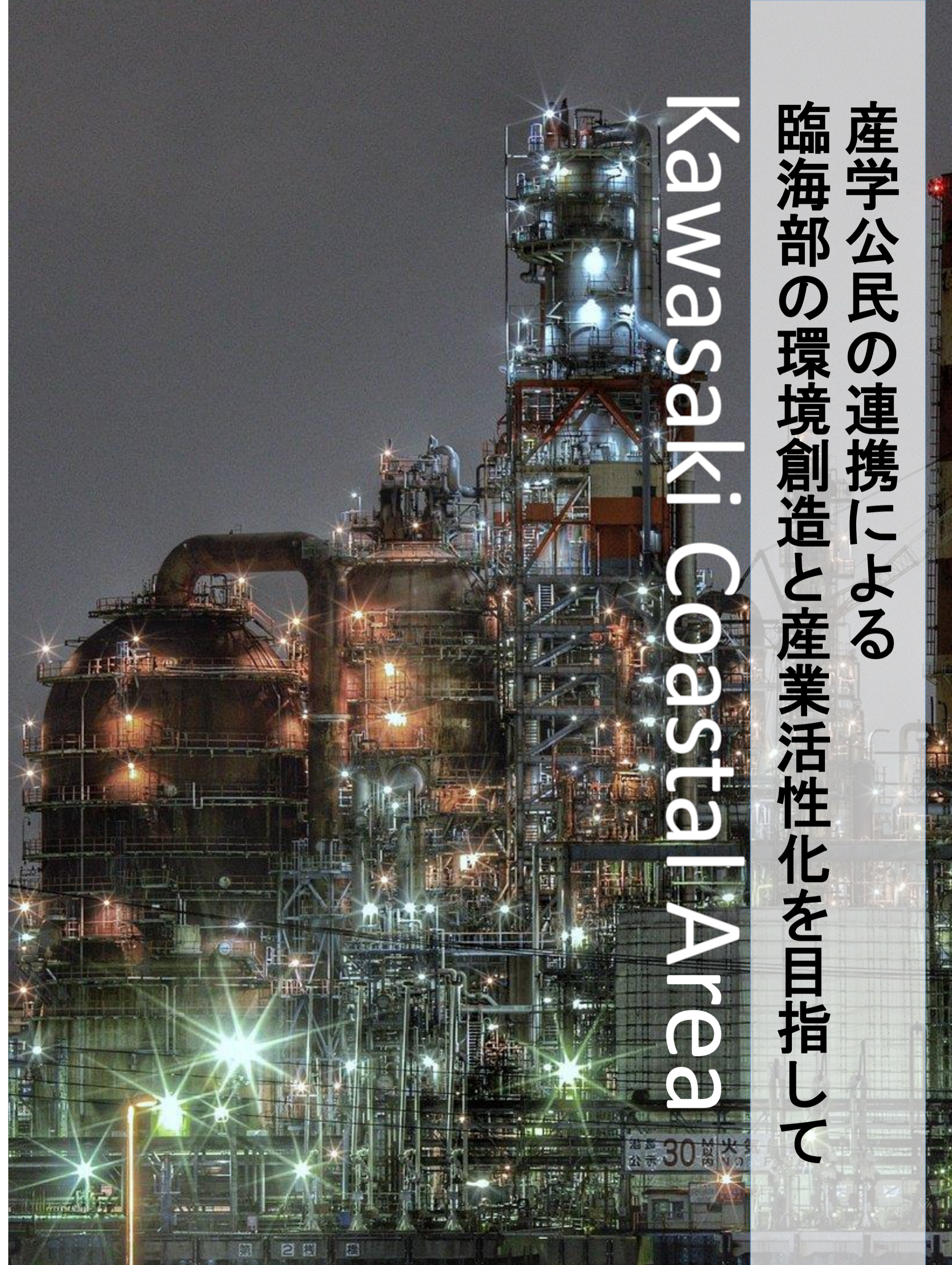
特定非営利活動法人 (LCIE=Liaison Center for Creation of Industry & Environment)
産業・環境創造リエゾンセンター
〒212-0013
川崎市幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館12階
Tel.: 044-522-5455 (FAX兼用)
E-MAIL: npo_lcie@helen.ocn.ne.jp
URL: <http://www.lcie-npo.jp>

2021年 9月 発行

表紙写真：工場夜景 東亜石油株式会社

Kawasaki Coastal Area

産学公民の連携による
臨海部の環境創造と産業活性化を目指して



LCIE

Liaison Center for Creation of Industry & Environment
特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

■ スマート・コンビナートを目指して

産業・環境創造リエゾンセンターは、川崎臨海部の立地企業を中心とする13社の有志により2004年8月に設立されました。当センターは、京浜臨海部を主なフィールドとし、産官学、市民との連携のプラットフォーム機能を発揮し、産業の活性化や環境・エネルギー問題の解決に貢献することを目指して活動を推進しています。

京浜臨海部は我が国の経済成長を牽引してきた有数の工業地域です。この地域には多くの環境に配慮したものづくり企業が集積しており、今世紀も引き続き、我が国の持続可能な発展を牽引する特別な地域です。環境と経済の好循環を推進するには、その時々状況に照らした最適解を検討し、実行し、修正していくサイクルが重要です。それ

には、行政、企業、大学、そして市民が役割を分担し、連携した取り組みを実践することが不可欠です。

当センターはその名の通り、連携活動を通じ、産業と環境を創造することを目指しています。産業・環境創造リエゾンセンターが企業と行政ニーズとのマッチングの役割を果たし、スマート・コンビナートとして京浜臨海部が発展できるよう寄与できれば幸いです。企業が元気になる、環境がよくなる、その活動に市民がエールを送る、そして世界が目にする、そのような取り組みの実現に貢献したいと思います。

理事長 足立 芳寛

■ リエゾンセンター*の産学公民ネットワーク

*リエゾン：連携を意味します。



◎川崎市との連携

- ▶川崎市との政策懇談会
- ▶川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会
- ▶臨海部防災協議会
- ▶循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議

◎環境NPO団体、市民、行政との連携

- ▶川崎温暖化対策推進会議(C C川崎エコ会議)
- ▶低CO2川崎ブランド推進協議会
- ▶川崎区企業市民交流事業推進委員会
- ▶臨海コンビナート親子見学会、市民見学会
- ▶環境・産業交流コーナー

◎全国コンビナート関係者との連携

- ▶スマートコンビナート・シンポジウム

◎臨海部立地事業所、行政との連携

- ▶京浜臨海部コンビナート高度化検討会議

◎臨海部立地事業所、研究所、市民、行政との連携

- ▶川崎臨海部活性化推進協議会

■ 主な連携活動

当センターでは、会員企業・行政と連携し、川崎臨海部での政策課題や先進事例について情報共有や全国発信に取り組んでいます

● スマート・コンビナート・シンポジウム

2010年以来、通算11回にわたり、京浜地区をはじめ全国各地のコンビナート地域との地域間連携や事業所間連携、産学官連携による先進的な取り組み事例を取り上げ、スマート・コンビナートを目指した議論を深め情報発信をしています。2020年の開催実績は下記のとおりです。



基調講演 「コンビナート連携の成果と今後の展望」成城大学教授 平野 創 氏
★テーマ・事例発表者

- [ブルネイ・川崎国際間水素サプライチェーン実証の取組について] 次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合
- 「廃棄プラスチックからの水素エネルギー再生とその実用展開」 昭和電工株式会社 川崎事業所
- 「臨海部ビジョンの推進について」 川崎市臨海部国際戦略本部
- 「周南コンビナートを核とした地域資源活用の取組について」 周南市

● 川崎市との政策懇談会

川崎臨海部に係る最新動向及び政策課題への取組状況や会員企業の新たな活動状況について、当センター役員・会員と川崎市関係部局幹部との意見交換を毎年2回開催しています。

川崎市 経済労働局 環境局 まちづくり局
建設緑政局 港湾局
臨海部国際戦略本部



● リエゾン研究会

リエゾン研究会では、川崎臨海部において課題となっている事項の調査・検討を行い、臨海部の今後の発展と情報発信の強化につなげる活動に取り組んでいます。

川崎市が2018年3月に「臨海部ビジョン」を策定しましたが、同ビジョンの中で直近10年以内に取り組むと位置付けた「リーディングプロジェクト」の中から、「企業と行政の協働により取り組むこと」について具体的取組



につなげる議論を深めています。2020年度は「働きたい環境づくりプロジェクト」、災害対応力向上プロジェクトなど4つのプロジェクトを実施しました。

● リエゾン交流会、市民・親子見学会

臨海部及び関連地域での会員企業や関連企業の先進事例等について、川崎市・神奈川県職員にも参加を呼びかけ会員及び行政職員との共通認識の形成を目的として視察見学会・交流会を開催しています。

★最近における開催実績は次のとおりです。

- 2021年2月 国際間水素サプライチェーン実証事業の脱水素川崎プラントのオンライン見学会
- 2021年4月 AIベンチャー企業を訪問しAI・ロボットを活用したプラントメンテナンス事例の視察交流会

